



川西市議会議員

ふくにし 勝

活動報告 第63号

2026年 夏号 発行責任者：ふくにし勝後援会 会長 原 龍生

令和8年第2回川西市議会(6月定例会)が6月5日(金)から6月26日(金)まで開催されました。

私は令和7年10月27日(月)の臨時市議会において副議長に選出されたことから、慣例により定例会での一般質問を行えません。そこで私が日頃から言い続けている考え方や実現した内容について報告させていただきます。

川西生まれ! 川西育ち!!

スケートボードパークがオープン

2026年4月4日(土)中国自動車道高架下にバスケットボール(3×3)を兼ねたスケートボードパーク(加茂6丁目)が完成しました。

私はスノーボードインストラクターの経験からスケートボードの楽しさを理解しています。

2021年夏の東京オリンピックで日本人選手の大活躍以降、子どもや若者から「川西市にスケートボードパークがほしい」の要望と、東京オリンピック以前より「バスケットボールを気軽にできる場所がほしい」の声も多く聞いていたので、中国自動車道の大規模改修に伴い、閉鎖されていた加茂6児童遊園地をリニューアルオープンする提案として一般質問で取り上げました。

オープニングセレモニーでは公募されたスケートボードパークの名称が「カモロクスケートパーク」と発表されました。

整備費用には市民から「スケートボードができる環境整備に使用してほしい」と寄付があり、クラウドファンディングやスポーツ振興くじtotoの助成金を活用し、川西市の費用負担を減らして整備されました。

課題であった駐車場整備に関しては、川西市職員が国や兵庫県へ熱心な対応により、中国自動車道の側道下を管理する兵庫県の土地を駐車場として活用できることとなりました。

オープン後4か月以上経過しますが、連日多くの方が利用しています。

利用時間は9時～21時、無料で雨天時も利用可能です。

引き続き多くの方から愛されるスケートボードパークとなることを願うとともに、トイレの課題解決に取り組んでいきます。



川西市 HP

ごみ焼却場（国崎クリーンセンター）の広域化

川西市北部（国崎）に、ごみ焼却場（国崎クリーンセンター）があります。

2009年3月～1市3町（川西市・猪名川町・豊能町・能勢町）で運営しています。

供用開始後17年以上が経過し、2026年度～3年間、大規模改修が行われています。

近年は人口減少の影響が大きく、可燃ごみの焼却量は減少しています。（総排出量も減少）

年間の最大焼却量は1炉117.5トン×2炉×365日＝85,775トンです。

しかし定期点検や修繕作業が毎年行われることから100%の稼働は現実的に難しく、実際の最大焼却量は1炉117.5トン×2炉×280日＝65,800トンです。

2024年度の決算では年間約5万トンで、残り約1.5万トンが焼却できます。

そこで池田市の燃やすごみを受け入れる提案をしています。

川西市は国崎クリーンセンターの運営に毎年約12億円負担しています。

今後はごみ焼却量が減少しても、ごみ処理費が安くならず、大規模改修で費用負担が増えます。

池田市から燃やすごみを受け入れることで、池田市からの負担金が入ると、川西市の負担額が減少し、行財政改革や行政サービスの拡充が測れます。



国崎クリーンセンター

子どもの笑顔があふれる街、川西!

久代浄水場（自己水）のあり方の見直し

久代浄水場は1980年4月～供用開始され、46年以上が経過しています。

24時間体制で川西市内の配水池を含む水の流れや水質管理を行っているとても大切な施設です。

しかし修繕作業は行われているものの、老朽化が進んでいます。

私は大規模改修を行う前に久代浄水場を廃止し、多田浄水場を広域化することを提案しています。

川西市の年間総配水量は約1,500万 m^3 です。

近年はごみ焼却量と同じで、人口減少の影響が大きく年間配水量は減少しています。

1日平均配水量は約4.1万 m^3 です。（1,500万 \div 365日＝41,095 m^3 ）

約4.1万 m^3 の内訳は多田浄水場が約3.5万 m^3 と久代浄水場が約0.6万 m^3 です。

物理的には多田浄水場で川西市内全域の水道水を供給できます。

①大規模改修を行い、今までと同じ体系とする。

②多田浄水場を広域化させ、久代浄水場を廃止し、久代配水池として再整備する。

③その他の体系とする。 更なる調査研究を行い、議論を深めていきます。

ご意見・ご感想等ご連絡をお待ちしています。

【連絡先】ふくにし勝後援会 〒666-0014 川西市小戸1-6-12-303

Tel&Fax 072-744-2803 携帯 090-4766-2203

プロフィール 昭和54(1979)年7月20日生まれ(47歳)

鶴之荘幼稚園卒園、川西小学校、緑台中学校卒業、大商学園高等学校卒業。

高校卒業後はスノーボードインストラクター、清和台中学校陸上競技部の外部コーチ等、市村浩一郎衆議院議員公設秘書を経て、平成22年川西市議会議員選挙初当選。 現在4期目

所属委員会 副議長、総務生活常任委員会、飛行場対策周辺整備調査特別委員会。